

● 実践報告シート一覧

テーマ	No.	名前	対象	時間数	タイトル
A 自己理解・他者理解・国際理解 ・ 自分をふりかえり他者と出会う	A01	坂田 英香	小学3年生	3時間	自分を見つめ直そう
	A02	高橋 ゆとり	高校3年生	4時間	自分の国を発表し合おう
	A03	久保 真希子	小学5、6年生	45分間	人は見かけによらぬもの(偏見)
	A04	田村 浩史	小学校高学年～	120分間	異文化理解
	A05	池田 昌代	外国籍児童6年生	5時間	つながる・つなげる ブラジル、日本、ぼく/わたし
	A06	望月 衛	日系ブラジル人児童3年生～6年生	3時間	わたしがつなぐ 二つの国
	A07	石川 真美子	外国人と日本人ボランティア	1時間	自己理解♪他者理解♪
B 世界とわたしのつながり ・ 共に越える人類共通の課題「貧困」	B08	夏目 佳代子	中学3年生	3時間	わたしと世界はつながっている
	B09	谷口 千賀子	高校1年生	20時間	世界がもし100人の村だったら
	B10	太田 幸子	小学6年生	7時間	貧しいってなんだろう？
	B11	鈴木 美保子	3年生&AFS生	1時間	「貧困」とは何？～高校生の目線から～
	B12	蓑田 竜史	中学3年生	$\alpha+4時間+\beta$	人類の叫びを聞け！～世界を知ること、考えるべきこと～
	B13	植木 さつき	中学1、3年生	4時間	私たちは地球の宝モノ～僕たちの可能性・僕たちの権利～
	B14	柴田 和聡	一般	2時間	一杯の〇〇〇〇から幸せな未来を考えよう
C 「国際協力」「ボランティア」 ・ 未来のために足元から動き出す！	C15	瀧澤 聖治	養護学校高等部1年生	8時間	Bangladesh と日本の懸け橋～国際協力を考える～
	C16	熊谷 博	小学5年生、保護者	全4時間中第1・2時	一人の百歩より百人の一歩
	C17	高木 正彦	小学6年生	90分間	なんとかしなきゃ！みんなで布チョッキンワークショップ
	C18	若林 一道	中学3年生	2時間	みんなが“笑顔”であるために
	C19	鉦田 直史	小学校高学年～	2時間	共生 ～立場を変えたらどんな気持ち？～
	C20	岡田 めぐみ	一般市民	2時間	知り合おう ～はじめの一歩～
	C21	稲葉 亮二	高校2年生	50分×3	未来から感謝の手紙
D ブラジル、 Bangladesh ・ 多様な世界と肯定的に出会う	D22	鈴木 二葉	養護学校小学部3年生	8時間	Bangladesh ってどんな国？
	D23	野村 佳世	小学校中高学年	2時間	国際理解講座～ Bangladesh ～
	D24	石谷 泰枝	高校2年生	4時間	日本と Bangladesh どっちも〔 〕
	D25	美濃和 牧子	小学1年生	14時間	Muito Prazer Brasil(はじめましてブラジル)
	D26	小池 美也子	小学1年生	7時間	ボン ジーア！ ブラジル
	D27	野水 真理子	小学6年生	2時間	つながっているね！わたしたち
	D28	小林 ゆかり	小学校教諭	1時間	世界の国の「こんにちは」を知ろう
E 世界とわたしのつながり ・ 共に越える人類共通の課題「環境」	E29	井上 紗由里	高校2年生	1時間	環境問題・私たちにできること
	E30	大宮 秀樹	高校3年生	2時間	ゴミと環境と生活
	E31	吉野 仁美	高校1年生	5時間	私にもできる！？はじめの一歩
	E32	森 律子	高校1年生	2時間	水を守る
	E33	北島 智明	小学校3年生	13時間	えっ！？おいしいFURUTA～アマゾンの森と私たち～
	E34	石原 茂樹	中学3年生	2.5時間×3学級	地球環境問題について考えるinブラジル
F 「戦争と平和」「豊かさ幸せ」 ・ 共生のためにできること	F35	酒井 智帆	小学6年生	90分	出前講座「戦争のはじまり」
	F36	西尾 友里	高校生・大学生・一般	6時間	第三次世界大戦勃発！その時、あなたは？
	F37	斉藤 順子	国際理解教育に興味のある方	1時間半	フィリピンの先住民族の子どもとともに創る「平和」
	F38	山本 孝次	高校2年生、留学生	2時間	幸せNo.1家族を探せ！
	F39	堀田 麻衣子	国際交流に関心のある方	1時間半	「国際交流は何のため？誰のため？」
	F40	山口 美由紀	高校2年生	10時間	I Have a Dream! ～キング牧師の夢と私の夢～
	F41	酒向美雪	小学5年生	1時間	国際理解と親善

※凡例: 教師海外研修受講者

■ 実践報告シートの記入方法について ■

◆このシートの利用場所

- ・第4回指導者研修の際、研修参加者に配り、実践の共有をします。
- ・実践報告フォーラムで、拡大コピーしたものを会場に壁に掲示し、一般参加者にも配布予定です。

◆複数の実践がある場合

- ・複数実践ある場合は、紹介したい方を記入。但し、連続ものは1つとしてまとめる。

記入要領

◆タイトル

- ・35文字以内
- ・実践されたカリキュラムや講座のタイトル、あるいは内容が一目でわかるようなキャッチーなもの

◆実践場所

- ・最初に県名を記入。その後、学校の場合は学校名、一般の研修では例「〇〇団体の講座」「〇〇市の講座」

◆実践者

- ・皆さんの氏名

◆対象

- ・学年や具体的な対象(例:小学6年生、国際理解教育に関心のある方など)

◆時間数

- ・学校の場合は、実践された授業の総時限数を、その他の講座では何回講座で何時間提供されたか

◆担当教科

- ・教員の場合は、自身が担当している教科、あるいは小学校の場合は担任学年など
- ・団体の場合は、団体における自分の部署名や役割 (→この場合は、見出しを「所属」に変更してください)

◆実践教科

- ・教員のみ
- ・どの教科(課外活動を含む)で実践されたかを記入

◆ねらい

- ・58字×3行以内
- ・実践されたカリキュラムや講座のねらいや到達目標など、実践の目的された内容について

◆実践内容

- ・基本は以下のとおりとするが、自由にレイアウトしていただいても可。(写真データを貼ることもOK)
- ・プログラム欄は40字×原則27行以内、備考欄は12字×原則27行以内
- ・各回の間は原則1行空ける(回数が多く行数が必要な場合は、空ける行数を1/2行など縮小してもよい)
- ・実践された回ごとのプログラム(アクティビティ)を記載
- ・プログラム欄の書き方は自由。回数少なければプログラムを具体的に、回数多ければ概要とポイントを記述
- ・備考欄は、使用した教材、依頼した外部講師、その他参考としたものを記述

◆成果

- ・58字×3行以内
- ・ねらいの達成度、対象の変化やよい反応、やってみてよかったこと、自分自身の気づきなど

◆課題

- ・58字×3行以内
- ・ねらいが達成できていない部分、やってみて気になったところ、ネクストステップに向けた自分への提案など

◆備考

- ・58字×2行以内 その他書いておきたいこと